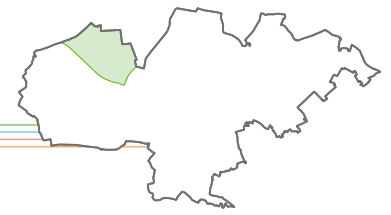


10 高松・要町・千川地域



1 地域の概況

(1) 位置

区の西部に位置する高松1丁目から3丁目、要町1丁目から3丁目の一部及び千川1、2丁目の区域です。東側の環状6号線（山手通り）以東は池袋西地域、南側の放射36号線（要町通り）以南は長崎・千早地域、北側は板橋区に接しています。

(2) 変遷

江戸時代から明治時代にかけて、米、雑穀、蔬菜類を栽培し、江戸・東京の中心部へ持ち込む都市近郊型の農村地帯として、わずかな集落が点在していました。また、江戸時代に民衆信仰として広まった富士講の月三講（椎名町元講）によって、長崎富士塚（国指定有形民俗文化財）が築造されました。

大正時代、関東大震災後に市街化が進み、昭和初期にかけて大規模な耕地整理が行われました。戦前には、区内最古のアトリエ村「すずめが丘」が建設されました。

戦災による被害はほとんどなく、昭和30（1955）年代にはほぼ市街化が完了し、アパートやミニ開発などが増加しました。その後、都市計画道路放射36号線及び環状6号線の整備、営団地下鉄有楽町線（現東京メトロ有楽町線）、東京メトロ副都心線の開通などを経て、現在に至っています。

(3) 現状

土地利用は、住宅系が大半を占め、独立住宅の構成比が高くなっています。また、えびす通りは、住商併用建築物による商店街が形成されています。

鉄道は、南に東京メトロ有楽町線・副都心線が通り、要町駅と千川駅があります。

道路は、耕地整理により、道路網がほぼ整っている地区が多くなっていますが、地域の東側には幅員4m未満のものが多く、地区道路や生活道路が不足しています。

都市計画道路は、放射36号線、環状6号線が整備済み、補助26号線が概ね整備済みです。

図表277 大正時代の長崎村



写真にみる豊島60年のあゆみ展より転載

図表278 要町交差点



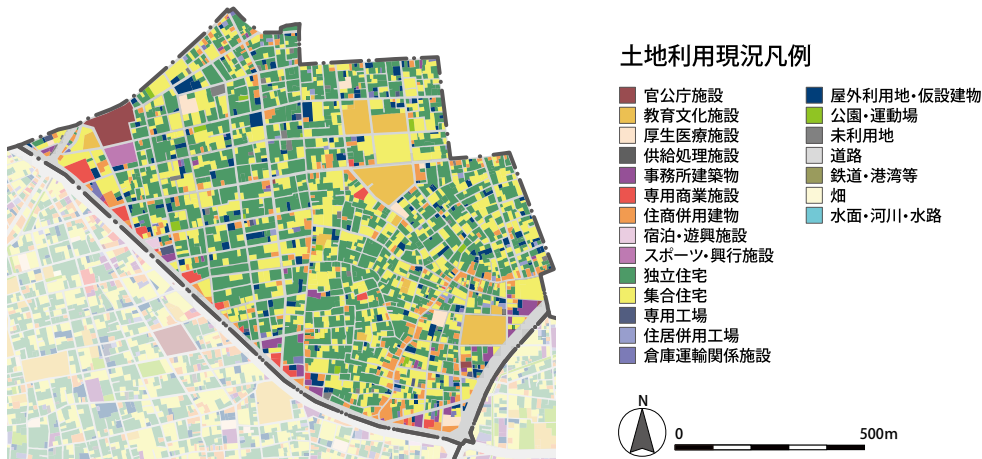
画像提供：豊島新聞社

図表279 地域の主要指標⁹³

	豊島区 (a)	高松・要町・ 千川地域 (b)	割合 (b/a)		豊島区	高松・要町・ 千川地域
人口	284,678人	18,513人	6.5%	面積	1,298.5ha	88.6ha
0～14歳	22,225人	1,391人	6.3%	公共系	10.4%	5.7%
15～64歳	204,120人	12,997人	6.4%	事務所	4.5%	1.3%
65歳～	54,048人	3,905人	7.2%	専用商業	1.9%	1.2%
人口密度	219 人/ha	204人/ha		宿泊・遊興	1.3%	0.5%
世帯	166,214世帯	10,108世帯	6.1%	住商併用	5.3%	5.1%
単身世帯割合	60.8 %	57.2%		独立住宅	21.2%	35.8%
世帯人員	1.7人/世帯	1.8人/世帯		集合住宅	21.9%	22.3%
事業所数	17,911所数	557所数	3.1%	工業系	2.1%	1.3%
従業者数	252,786人	3,858人	1.5%	公園・運動場等	3.7%	0.4%
不燃化率	68.6 %	58.0%		未利用地等	4.6%	4.7%
				その他	22.9%	21.8%

※人口(人)は、年齢不詳データがあるため、各区分人口を合計しても一致しない。

図表280 土地利用現況図



資料：「土地利用現況調査(平成23(2011)年度)」より作成

2 まちづくりにあたっての立脚点

第3章「豊島区の都市づくりにあたっての立脚点」及び地域特性に基づき、地域像、まちづくりの主な視点、地域の骨格となる拠点と軸の形成を示します。

(1) 地域像

みどり豊かで良好な住環境の中で、多世代が触れ合い、交流を育むまちをめざします。



「みどりとふれあいを人々が育む閑静なまち」

(2) まちづくりの主な視点

●安全・安心を実感できるまちづくり

日頃から、住民が主体となって災害対策や防犯活動に取り組み、地域全体の安全・安心を高めるまちづくりが必要です。

●駅や公園を中心とした庶民的で暮らしやすいまちづくり

駅周辺の地域に密着した商店街や公園などでは、子どもから高齢者までの多世代が交流する、快適で暮らしやすいまちづくりが必要です。

●利便性の高い閑静な住宅地を魅力にしたまちづくり

東京メトロ副都心線の開通により向上した利便性と閑静な低層住宅地を魅力として、地域の価値を高めるまちづくりが必要です。

●アトリエ村の面影を感じられるまちづくり

池袋モンパルナスの文化を生み出したアトリエ村の面影が、地域の中で感じられるまちづくりが必要です。

●寺社や個性のある公園、低層住宅地のみどりを生かしたまちづくり

地域の歴史を伝える寺社や千川彫刻公園、低層住宅地などのみどりを生かしたまちづくりが必要です。

図表281 地域資源図(高松・要町・千川地域)

高松・要町・千川地域

豊島体育館



長崎富士塚



千川彫刻公園



要町通り



えびす通り



	歴史・文化資源		公共施設		スポーツ施設
	旧道(名称)		医療機関(病院)		鉄道(JR)
	坂		大学		鉄道(東武、西武)
	寺社		教育施設		地下鉄
	花の名所(花の種類)		公園など		都電
	河川		街路樹		
	河川(暗渠)				

(3) 地域の骨格

【拠点】

■要町駅及び千川駅周辺を中心とした「生活拠点」の形成

○地域の人々が活発に交流し、にぎわう生活拠点として、日常生活を支える商業、医療、福祉、子育て、教育など都市機能の集積を図るとともに、駅施設のバリアフリー化により、利便性の高い拠点を形成します。

図表282 要町駅



【都市骨格軸】

○放射36号線、環状6号線及び補助26号線は、都市の骨格を構成し、道路ネットワークの形成にとどまらず、防災、みどり、景観、環境、にぎわいなど、様々な機能を担う都市骨格軸として周辺地域との連携や交流を支えます。

3 地域像を実現するためのまちづくり方針

第4章「目標を実現するための都市づくり方針」に基づき、地域像を実現するためのまちづくり方針を示します。



高度な防災機能を備えた都市の実現

○整備地域である要町3丁目は、建築物の建替えにあわせた狭あい道路の拡幅やすみ切りの確保、接道部の緑化、行き止まり道路の解消、オープンスペースの確保、建築物の不燃化・耐震化の促進などにより防災性の向上と住環境の改善を図ります。



人に優しい交通環境の構築

- 都市計画道路の整備にあたり、整備可能な区間では、四季の彩りを感じさせる緑化や無電柱化、自転車走行空間の設置など、安全で快適な歩行者空間を形成するとともに、バス路線の再編成等について関係機関との協議を検討します。
- 要町駅及び千川駅周辺は、歩行者空間の安全性の確保や駅施設のバリアフリー化に努めるなどユニバーサルデザインによるまちづくりを進めます。



ライフステージに応じた良好な住環境の整備

○池袋副都心に近接した交通利便性の高さを生かしながら、子育て世代に優しく、閑静で暮らしやすい住環境を形成します。

- 千川1、2丁目、要町2、3丁目及び高松3丁目の低層住宅地は、みどり豊かで落ち着いた街並みを維持・保全し、ゆとりと潤いを感じられる安全な住環境を形成します。
- えびす通りの商店街は、日常生活や人々の交流を支える商店街をめざします。

図表283 要町の低層住宅地



エネルギー効率の高い低炭素型都市への転換

- 放射36号線の街路樹や公園などのみどりを保全するとともに、その周辺での緑化を促進し、ヒートアイランド現象の緩和に取り組みます。



みどりの回廊に包まれた憩いの創出

- みどりの拠点を中心に、みどりの骨格軸である放射36号線により、既存の公園や沿道のみどりをつなぎ、四季の彩りが感じられるみどりのネットワークを形成します。
- 環状6号線、放射36号線及び補助26号線は、街路樹の整備や沿道の緑化、オープンスペースの確保などにより、みどりの拠点や公園などを結び、連続性のあるみどりの軸を形成します。



個性ある美しい都市空間の形成

- 補助26号線沿道は、地域の特性を踏まえながら、道路と沿道の街並みが一体となった景観づくりを進めます。
- 千川彫刻公園や低層住宅地のみどりなどを生かして、潤いを感じられる景観づくりを進めます。



文化を軸としたにぎわいと活力の強化

- かつての「アトリエ村」の歴史や現在の「新池袋モンパルナス西口まちかど回遊美術館」などの取り組みを生かして、芸術文化を感じられるまちづくりを進めます。
- 地域で育んできた伝統芸能である「富士元囃子(ふじもとばやし)」(区指定文化財)を地域の資産として次世代に引き継ぎ、個性あるまちづくりに生かしていきます。
- 新たな池袋モンパルナスの文化の創造とともに担う、池袋西地域や長崎・千早地域とそれぞれの個性を高め合いながら連携し、文化芸術のまちづくりに取り組みます。

図表284 新池袋モンパルナス西口まちかど回遊美術館





健康を支える快適な都市づくりの展開

- 要町通りと山手通りのゆとりある歩行者空間は、四季の彩りを感じながら散策やジョギングなどを楽しみ、気軽に身体を動かせる空間としての整備を検討します。
- 池袋西地域や長崎・千早地域、南長崎地域と連携して、地域資源を結ぶ散策ルートの設定やフットパスマップ⁷⁸を作成し、人々の回遊性を高め、健康づくりにもつながるまちをめざします。

図表285
要町通りのゆとりある歩行者空間



4 主要な都市整備プロジェクトの推進

まちづくりにあたっての立脚点及び地域像を実現するためのまちづくり方針に基づき、主要な都市整備プロジェクトの推進方針を示します。

図表 286 主要な都市整備プロジェクト図（高松・要町・千川地域）



プロジェクト
①

千川小学校跡地の整備

- 千川小学校跡地のうち、敷地が分かれている体育館部分について、コミュニティの活性化に役立つ施設の整備を検討します。

図表 287 都市整備方針図（高松・要町・千川地域）



拠点	池袋副都心の核	交流拠点	生活拠点
軸		池袋副都心軸	
		みどりの骨格軸	
		みどりの軸	
		連続したみどり	
土地利用方針		池袋副都心商業業務地	
		交流拠点商業業務地	
		生活拠点商業業務地	
		商業業務系複合地	
		幹線沿道型複合地	
		産業系複合地	
住宅地		店舗等併存住宅地	
		一般住宅地	
		低層住宅地	

都電	++++●++++	荒川線
道路		高速道路
	主要道路網	幹線道路
	地区道路網	池袋副都心アプローチ道路
		補助幹線道路
		地区道路
みどり		公園、霊園、児童遊園等
		公共公益施設
		災害に関する協定を締結している教育施設
		救援センター
		避難場所
		東京都防災都市づくり推進計画整備地域（重点整備地域、整備地域）

第6章
地域別まちづくり方針